



### 高千市場で春季子牛市場が開催

4月2日に高千市場において令和8年度春季子牛市場が開催されました。今市場では、雌59頭、去勢57頭の合計116頭上場され、活気のある売買が繰り広げられ、平均価格及びkg単価ともに前回に比べ大きく上昇しました。今後も優良和牛子牛生産地域として、繁殖成績、子牛の発育などに留意し、子牛の安定供給に努めていきたいと思います。

#### 高千家畜市場成績（2026年4月）

	日齢	体重(kg)	日齢体重(kg)	平均価格		kg単価	
				(円)	前回比較	(円)	前回比較
雌	282	283	1,006	735,490	+155,381	2,642	+300
去勢	266	299	1,140	810,314	+154,238	2,735	+403
全体	274	291	1,072	772,257	+140,574	2,687	+352

### 韓国で9か月ぶりに口蹄疫が発生！

・1月30日、韓国の仁川広域市の牛飼養農場で口蹄疫（0型）が発生し、2月には京畿道高陽市の牛飼養農場でも2件の発生が確認されました。空港や港での検疫体制は強化されているものの、国内への侵入リスクは極めて高い状況が続いております。

・偶蹄家畜（牛・豚・緬山羊）の飼養者は、飼養衛生管理基準を遵守し、発生予防の徹底をお願いします。

#### 疑わしい症状は直ちに通報を！

口蹄疫は牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、後に**泡状のよだれ**を流したり、**口、ひづめ、乳房に水疱（水ぶくれ）**ができるのが特徴です。  
<A型口蹄疫ウイルスの感染実験の結果>

～牛の症状～

写真：宮崎県提供



写真：動物衛生研究部門提供



上顎口唇潰瘍



水疱が破れている

毎日必ず健康観察し、これらの症状を見つけ次第、直ちに**獣医師**や最寄りの**家畜保健衛生所**に連絡しましょう。

牛では、**1頭のみに着目せず**、泡状のよだれを多く流している個体が多い、上記の症状が急速に広がるなど、**群としての異状の有無を確認することが重要**です。  
(農林水産省HPより)

## 令和8年度の重点実施事項

### ○ 家畜伝染病の発生予防とまん延防止体制の強化

- ・家畜伝染病の発生予防のため、生産者への最新情報の提供と注意喚起を行うとともに、飼養衛生管理基準の遵守調査、改善指導を行います。
- ・迅速かつ的確な初動対応ができるように、防疫計画の再点検・更新、地域振興局等と連携し、防疫訓練や研修会を実施します。

### ○ 畜産経営における生産性向上及びコスト低減による所得の確保

- ・搾乳衛生及び飼養管理を指導し、生乳の品質維持・向上を図ります。
- ・黒毛和種繁殖牛及び子牛増頭、新規就農者の育成を目的に設立された大型和牛繁殖支援施設で、定期的な衛生検査、飼養衛生管理の指導を行います。
- ・繁殖農場での受精卵移植技術を活用した遺伝的改良、優良な和牛子牛の増頭を支援します。また、子牛の事故防止のために衛生指導を行います。
- ・公共放牧場や農場での牛伝染性リンパ腫の対策指導を行います。
- ・肥育牛の検査・指導により高品質な「にいがた和牛」の生産拡大を支援します。

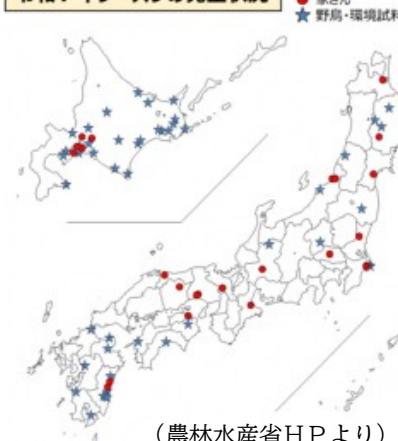
## 令和7年シーズンの鳥インフルエンザ発生状況

・R7シーズンは、R7年10月22日に北海道の採卵養鶏場で1例目が確認され、R8年4月22日時点で15道府県24事例、約576万羽が防疫措置の対象となっています。新潟県においてもR7年11月4日と9日に胎内市の採卵養鶏場で発生し、合計約91万羽を対象として防疫措置を行いました。

・昨シーズンの51事例、約932万羽よりは減少したものの、大規模農場や既発農場での発生が多い傾向でした。

・国は、①大規模農場での分割管理導入の検討、②発生・まん延リスクの高い地域を大臣指定地域（県内2地域を含む全44地域）に指定し、地域内の農所に対して、消毒薬の備蓄や野鳥誘引防止対策等の実施を義務付けています。

令和7年シーズンの発生状況



## 放牧が始まりました！

今年も4月22日の堂林放牧場を皮切りに、放牧が開始されています。例年どおり牛伝染性リンパ腫の感染状況に応じた区分けをしています。ご理解とご協力をお願いします。



=== 新たな組織体制となりました。

よろしく願います！ ===

\*転入者

支所長	主任	主任	主査（庶務）
濱崎 尚樹*	羽入 さち子	漆原 麻純*	坂下 由希

お世話になりました：岡本英司（上越家保へ）、田森みのり（下越家保へ）